

令和7年度(2025年度)下期 国際大会選手選考方法 2025/7/9

◆ワールドカップ

[選考方法]

- 1、選考対象大会は、2025年度インターナショナル・ナショナル選手標準記録突破対象大会のうち、日本水泳連盟派遣の国際大会・日本選手権・インターハイ・全国中学とする。
但し、日本水泳連盟派遣の国際大会は予選・準決勝・決勝・スィムオフ・リレー第1泳者の記録、日本選手権・インターハイ・全国中学は決勝競技(リレー第1泳者含む)の記録を対象とする。
- 2、選考は、日本水泳連盟選手選考委員会が編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により最大8名を選考する。
- 3、選考方法は、上記選考大会のコンバインドランキングを元に、インターナショナルC以上の記録で希望選手の中からインターナショナルB以上の突破者を優先して、インターナショナルA到達率の高い選手を選考する。
但し、最大8名のうち2名までは優先的にインターナショナルC以上を突破した高校3年生以下の選手を選考する。
※インビテーション対象選手は、別途世界水泳連盟の規定に基づき派遣される。
- 4、派遣対象大会は以下の3戦とする。
①10/10-12 アメリカ・カーメル ②10/17-19 アメリカ・ウェストモント ③10/23-25 カナダ・トロント
- 5、日本水泳連盟が代表選手を派遣する国際大会においては、自費での大会参加を認めない。

◆アジア選手権(インド・アーメダバード 9/28-10/1)

[選考方法]

- 1、選考競技会を第 93 回日本高等学校選手権水泳競技大会(広島・8/17-20)とする。
但し、選考に際しては同大会に出場することができない 2025 年度世界ジュニア選手権代表の
インターナショナル・ナショナル選手標準記録対象大会での記録(世界ジュニア選手権本大会
は含まず)も加味する。
- 2、選考は、11th Asian Aquatics Championships 2025 競技規則に基づいて日本水泳連盟
選手選考委員会あたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により
選考する。
- 3、日本水泳連盟競技者登録完了者で日本国籍を有すること。
- 4、参加有資格者は、高校生とする。
※渡航手続きの都合上、2025 年 8 月 20 日の時点でパスポート有効期間が 2026 年 3 月 26 日以
降のものを有すること。
- 5、編成人数は、最大 12 名とする。
- 6、以下①～⑥の区分内において、決勝競技の上位者もしくは 2025 年度世界ジュニア選手権代表
の中から 1 名を選考する。
(男女別)
①自由形短距離(50m・100m・200m) ②自由形中長距離(400m・800m・1500m)
③背泳ぎ(100m・200m) ④平泳ぎ(100m・200m)
⑤バタフライ(100m・200m) ⑥個人メドレー(200m・400m)

区分内における選考は、2025 年インターナショナル・ナショナル選手標準記録におけるインター
ナショナル B 到達率を用いて行う。
なお、対象が複数名同タイムであった場合には、同一区分内の別の種目における到達率と併せて
比較し序列する。
- 7、本大会参加の意思は確認し、辞退を認める。
*派遣期間は 2025 年 9 月 25 日(木)～10 月 2 日(木)を予定。
*2025 年度世界選手権及び同ワールドカップに選考された者の参加は認めない。
- 8、代表コーチは、コーチ3以上の資格を有する者を対象とし、インターナショナル B 到達率上位者の
担当コーチから遠征参加可否を確認した上で選考する。